

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	開設から1年で、利用者、職員の定着が整い、今後の活動も発展させ、奇数月の第2金曜日に開催する予定となっている。地域に根差した運営の為、今後2か月に1回の開催が望まれる。	今後は、年間計画をたて、2か月に1回、定期的で開催していきたい。	先日、第2回目を敬老会も兼ねて開催した。今後は、推進委員の方のご意見も取り入れながら、年間計画に取り入れ、奇数月に大体の曜日を決めて、定例化していく。	12ヶ月
2	5	今後は地域の事業者連絡会に参加し、市担当者参加の指導や同業者との交流が進むように期待する。	事業者連絡会や勉強会などに参加し、同業者との情報共有や交流を盛んにし、地域にもっと根付くようにしていきたい。	今後は積極的に地域の事業者連絡会等に参加したり、市担当者の指導を受けながら、地域の方に、認知症カフェや無料の入浴支援を行なえるように努力していきたい。近日、地域包括センター職員の見学要望があり、来所していただく予定である。	12ヶ月
3	26	目標は誰にでも当てはまるものではなく、もっと個人個人にあった具体的な内容で話し合うことにより、本人のやる気を明確にすることが必要。個々の介護計画作成に努力されることを期待する。	一人ひとりの出来ること、強み、頑張れること、本人の思いを十分に生かされるような介護計画を作成できるようにしていきたい。	担当者がアセスメントを具体的にとり、本人や家族との話し合い、思いを把握し、カンファレンスで本人主体の介護計画を作成していけるようにしていきたい。アセスメント票の見直し、細かくみにくいため、職員間で情報を共有できるようなものに変更する。	3ヶ月
4	38	災害時、近隣住民の理解や協力が得られ職員が迅速に避難活動が行えることで、利用者の安心感に繋がるよう期待する。避難先での医療支援が受けられるよう、持ち出しリュックに医療情報を整備されたい。	今後は年2回の避難訓練のうち、1回は夜間を想定した訓練を行っていききたい。地域住民、消防にも協力、参加していただき行いたい。	近隣住民等との理解、協力を得るために、地域活動にも参加していきたい。避難時の持ち出しリュックには、利用者様の主治医、患者、薬の処方箋等の情報を、誰が見ても一目で理解可能なリストを作成する。災害時、いつでも持ち出せるように職員全体で周知しておく。	1ヶ月
5	40	排泄時や入浴時の声かけ、誘導が他者への配慮にかけた対応となっている。	利用者様一人ひとりの人格を尊重した対応を、職員全体が実践できるようにしたい。	ミーティングや事業所内、外部研修を頻繁に行い、自分達の日々の言動やケアを振り返り、話し合い、プライバシー確保、利用者様の人格を尊重したケアができるようにしていきたい。	3ヶ月
6	56	壁画の飾りが、利用者にとって指示的、幼稚的で人格を尊重せず配慮がない。職員は一生懸命に行っているが方向性が間違っている。職員間で話し合い、方向性を理解させることが必要。	入居者様と一緒に取り組んだ作品を、自宅の間として家庭的な雰囲気に馴染んだものにしていききたい。	介護職員で経験が短い職員には、外部施設研修にはいってもらう予定である。他事業所をみることで、自分の考えのみに固執せず、多方向から尊敬ということに対して、もう一度考え直したり、職員間で話し合う機会や勉強会を頻繁に設けていきたい。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。